



姉妹都市協会のマスコット
「シスターくん」

TOMO 姉妹都市ニュース

札幌姉妹都市協会 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル 札幌国際プラザ内 TEL: 011-211-2105

札幌市の姉妹・友好都市紹介

ポートランド市 (アメリカ)

1959年11月に提携。オレゴン州最大の都市で、環境に優しい都市として知られています。毎年6月に開かれる「ローズフェスティバル」が有名です。



▲ローズフェスティバル

ミュンヘン市 (ドイツ)

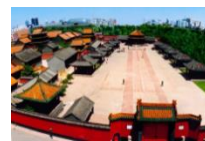
1972年8月に提携。バイエルン州の州都で、ビールの街として有名。毎年9月から10月にかけて行われるオクトーバーフェストでは連日連夜ビールを飲み、歌い踊り明かします。



▲新市庁舎

瀋陽市 (中国)

1980年11月に提携。遼寧省の省都で、7200年前には定住集落があったとされ、長い歴史を持つ古都。瀋陽故宮は世界遺産に登録されています。



▲瀋陽故宮

ノボシビルスク市 (ロシア)

1990年6月に提携。ロシア第3の都市で、世界で最も人口が急増した街と言われています。音楽やバレエなど優れた芸術文化を誇ります。



▲国立オペラ・バレエ劇場

大田広域市 (韓国)

2010年10月に提携。国内随一の先端科学技術都市として注目されています。百濟時代に発見された儒城(ユソン)温泉が有名です。



▲エクスボ科学公園



～札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念事業～ ポートランドから親善訪問団がやってきました！

札幌市とアメリカ・ポートランド市は1959年の姉妹都市提携から、今年で60周年の節目を迎えました。10月23日(水)～27日(日)の日程で、アメリカ・ポートランド市からテッド・ウィーラー市長をはじめとする親善訪問団が札幌を訪れます。滞在中には、記念式典や札幌国際プラザでの日本文化体験などが予定されており、姉妹都市提携60周年を祝います。10月26日(土)には「ポートランドを知るセミナー～わたしの街、わたしの暮らし～」が開催されます。「全米一住みやすい都市」として知られているポートランド。なぜ多くの人々がポートランドに惹きつけられるのでしょうか？様々な市民の活動が支えるポートランドの魅力に触れてみませんか？



▲札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念ロゴ

◆札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念セミナー◆ 米国・ポートランドを知るセミナー～わたしの街、わたしの暮らし～

日時: 2019年10月26日(土) 14:00-16:30
会場: 北海道大学 学術交流会館 小講堂 (札幌市北区北8西5)
申込: 申込/10月1日(火) 午前9時より電話、来館、FAX、メールで申し込み。
お名前、電話番号、参加人数を明記。
申込・問合先/札幌国際プラザ 多文化交流部
Tel(011)211-2105 FAX(011)232-3833 メール portland60@plaza-sapporo.or.jp



提携60周年を記念して市民60人が出資してつくったクラフトビール

『SUPPORTLANDER'S』 (サポートランダーズ)

「60周年の乾杯ビールを自分達でつくって、両市の友好をもっと深めよう！」という目的で今年の1月に始まったこのプロジェクト。ビールの味やネーミング、缶のデザインまでメンバーが決めて、4月に札幌のビール醸造家2名をポートランドに派遣して現地の醸造家と一緒にオリジナルビールを作りました。「フルーティー&ジュシーな」IPAの緑缶と「爽やか&ホッピーな」ウィットエールのオレンジ缶の2種類。現在、市内・全国各地の酒販店・飲食店で入手していただけます。詳しくは、<https://www.facebook.com/60ninbeer/>をご覧ください。





60周年記念 ポートランドへ市民訪問団

6月初旬に、札幌から秋元市長をはじめとする約80名がポートランドを訪問しました。そのうち25名が、公募の市民等からなる市民訪問団です。

市民訪問団の皆さんは、60周年記念式典や全姉妹都市レセプションなどの公式行事に参加したほか、ポートランド日本庭園や日系歴史博物館などを訪問し、ポートランドと日本・札幌との長い交流の歴史を学びました。また、ホームビジットやボランティア体験を通じて、ポートランド市民との心温まる交流を深めました。6月8日(土)には、ポートランドを代表する祭り「ローズフェスティバル」を観覧。札幌市長らに乗せたポートランドー札幌姉妹都市協会作製の山車に、沿道から大きな声援を送りました。



▲ポートランド市長舎前で(6月6日)



▲札幌市長に乗せた山車
(6月8日 フローラルパレード)

今回、市民訪問団の団長としてポートランドを訪れた姉妹都市協会の福迫会長は、「60年もの間、姉妹都市として交流し続けていることは本当に素晴らしい。滞在中、多くの市民ボランティアにお世話になりました。ポートランドでの姉妹交流は、ボランティアが中心に行っていることが非常に印象的であり、ポートランド在住の日本人や学生など様々な人で構成されていることが特徴だと思います。」と帰国後にお話されていました。



▲福迫会長 (6月8日フェアウェルパーティ)

10月末のポートランドからの親善訪問団来札が今から楽しみです。



グラント高校の生徒、札幌の高校生活を体験！

札幌の姉妹都市であるアメリカ・ポートランド市で「日本語イマージョン教育」※を实践するグラント高校から生徒20名が札幌を訪問し、4週間にわたって日本の高校生活を体験しました。この研修は、平成23年度から行われている札幌市とポートランド市の高校生相互派遣交流事業の一環で、今回の来札で、ポートランド側からは通算100名の高校生が札幌で学んだこととなります。

6月15日(土)に札幌に到着したグラント高校生は、市立高校生のご家庭にホームステイをしながら、高校の授業や部活、学校祭などの高校生活を体験。校外活動日だった6月27日(木)はレットトーク・イングリッシュ高校生スペシャルを自分たちで企画、約50名の高校生が参加しました。グラント高校生はポートランドの紹介を英語でプレゼンテーションし、その後、ゲームやフリートークを通して日本の高校生と交流を深めました。そのほか、日本文化体験で着物を着たり、市内施設の見学、児童会館でのボランティアなどを行いました。

たくさんの交流を通して、日米の違いや共通点、相互理解の大切さを再発見しました。また、生徒それぞれの形で、研修の目標である「自立」を目指す4週間になりました。

来年3月には札幌から市立高校生16名がポートランドに派遣される予定です。



▲札幌市長表敬訪問 (6月19日)



▲レットトーク・イングリッシュ高校生
スペシャル (6月27日)



▲市立高校の授業体験

姉妹都市情報は札幌姉妹都市協会のFacebookでチェック！

札幌の姉妹都市関係のイベントの情報などを写真付きでご紹介するほか、姉妹都市交流に関心を寄せて下さっている皆様の情報交換の場としてもお使いいただけます。

<https://www.facebook.com/sapporo.sistercities>





ノボシビルスクから剣道・居合道・杖道の訪問団がやって来ました！

8月26日(月)、北海道剣道連盟が招聘するノボシビルスク市で剣道・居合道・杖道をしている11名が、札幌国際プラザに来訪されました。

日本文化に触れていただくことを目的として、国際プラザ日本文化体験ボランティアにご協力いただき、茶道体験会を実施しました。「『お菓子をどうぞ』と言われたら、まずお菓子を食べます。」など、ボランティアさんから茶道の作法や用具の説明を聞き、ボランティアさんが淹れたお茶を味わいました。最後には自分たちでお茶を立てる体験も行いました。最初は緊張した面持ちだった訪問団の皆さんも、ボランティアさんの優しい手ほどきを受け、リラックスしながらお茶を楽しんでいました。



▲茶道体験



▲北海道大学キャンパスツアー

茶道体験の後は、国際プラザ外国ボランティアネットワークのロシア語ユニット「ミーシュカ」の方々とランチ会を楽しみました。ランチの後は、「ミーシュカ」による北海道大学見学ツアーが行われ、ロシア語でのガイドを聞きながら、広大なキャンパス内を散策しました。

日本人との交流を通じて、日本文化に親しみ、札幌の歴史に触れる一日となったようでした。訪問団の皆さん、また札幌に来てくださいね！

↓ 予告！ Coming Soon! 予告！ Coming Soon! 予告！ ↓

ミュンヘン 500m美術館8周年企画 札幌ミュンヘン姉妹都市交流展

ミュンヘンゆかりの作家4組を招聘し500m美術館で展示会を開催します。この展示会は、抽象画の誕生に大きく寄与したミュンヘンの歴史に着目し「ミュンヘンの現代の抽象」をテーマに4組の作家が選出され、作品を展示するものです。海外のアートシーンに触れる機会をどうぞお楽しみください。札幌とミュンヘンの違いと同一性、芸術文化の違いや表現方法の多様性など様々な気づきに出会える3か月となることでしょう。

会期 2019年10月11日(金)～2020年1月14日(火)

時間 7:30～22:00

会場 札幌大通地下ギャラリー500m美術館

住所 札幌市中央区大通西1丁目～大通東2丁目

(地下鉄大通駅と地下鉄東西線バスセンター前駅間の地下コンコース内)

主催 札幌市



▲ 出展する作家の作品

中国語スピーチコンテスト 出場者・観覧者募集中！

中国語を学ぶ一般の方から大学生、小中高校生までどなたでも参加できる大会です。暗唱、朗読、弁論の部がありますので、自分に合った種目を選んでご参加いただけます。観覧は申込み不要です。

日時：2019年10月13日(日)12:30～16:00(受付開始11:40)

会場：北海道立道民活動センター(かでの2・7) 520研修室(中央区北2条西7丁目 Tel. 011-204-5100)

申込・問合せ・主催／北海道日中友好協会「中国語スピーチコンテスト」担当

住所：060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目加森ビル③5F

申込方法／申込先や国際プラザ等で配布中の申込書に記入し、申込先にFAX・郵送。各種目とも参加人数は10名(先着申込順、申込締切10月1日(火))。



「第29回 ロシア語詩と朗読のつどい」朗読出場者・観覧者募集中！

日本ユーラシア協会が主催する「ロシア語詩と朗読のつどい」が開催されます。ロシア語を学ぶ方々がロシア語の詩、小説、演劇の台詞の一節などをロシア語で朗読・発表する会です(発表時間は3分程度)。現在、朗読の出場者と観覧者を募集中です。参加を希望の方は、日本ユーラシア協会札幌支部へお申込みください。

【応募締切：10月18日(金)】

日時：2019年11月3日(日・祝)14:00～16:00

会場：札幌国際プラザ交流サロン(中央区北1条西3丁目札幌MNビル3階)

申込・問合せ先：日本ユーラシア協会札幌支部

〒060-0809札幌市北区北9条西4丁目 エルムビル4F 電話・FAX:011-707-9722



▲朗読の様子



アメリカ・ポートランド市 レポーター：ジョシュア・クロツ



アメリカのステート・フェア(State Fair)をご存じですか？ステート・フェアは、毎年8月～9月に各州で行われるお祭りのようなイベントです。オレゴン州の場合、今年は8月23日から9月2日に、ポートランドの隣の州都セイラム市で開催され、農業と家畜の大会(野菜の大きさや牛の質の高さを競う大会、子豚のレース、ふれあい動物園など)があったほか、コンサートや移動遊園地もありました！ぜひ、機会があればステート・フェアを体験してみてください！

ドイツ・ミュンヘン市 レポーター：オリヴァー・ギール

2019年6月15日に電動スクーターの公道走行が解禁され、多数のスクーターレンタルサービスが始まりました。時速は6～20キロですが、最高速度が時速12キロ未満の電動スクーターは、歩道や歩行者ゾーンで利用することができます。時速12キロを超える場合は、自転車専用レーンを使用します。マイクロモビリティ(超小型車)の手段の一つとして近距離での移動が円滑になり大気汚染の抑制にもつながると期待される一方、電動スクーターにおける交通規制がまだはっきりしていないため、交通違反や事故の発生の増加にもつながっています。ミュンヘンの警察と行政は現在、オクトーバーフェストの開催も控えていることから、電動スクーターにおける交通規制の情報共有に励んでいます。



中国・瀋陽市 レポーター：王 媛(オウ・エン)



▲瀋陽故宮

2019年8月9日～11月24日、長沙博物館と瀋陽博物館共催の「皇家氣象—瀋陽故宮清代宮廷生活用品展」が長沙博物館で開かれます。展示会は「服、器、文房具などの雑貨、宮廷飾り物」四つの部分に分けられ、瀋陽故宮博物館所蔵清宮文物95セットが展示されます。



これらの清王朝の品々は実用性と芸術性両方を備えており、清の時代の中期に、全国的に手工業のレベルが飛躍的に発展しました。服装、食器、生活用品、宮廷装飾には、清の時代の皇室宮廷生活中の礼儀と趣が表れています。

ロシア・ノボシビルスク市 レポーター：アリョーナ・フェシナ



ノボシビルスクのオビ川沿いに新しい観覧車がオープンしました。30台のゴンドラがあり、最大定員は180人です。高さは70メートル、直径は60メートルで、ロシアで3番目に高い観覧車になっています。建物の屋上に設置され、ロシアで唯一の構造です。1階には、後日カフェとギャラリーがオープンされるようです。また、ゴンドラの中には、オーディオガイドを整備する予定があり、乗車しながらノボシビルスクの歴史に触れることができます。観覧車は銅色で、太陽の光で輝き、暗くなると、イルミネーションで演出します。1週の所要時間は約16分で、一年中、鳥のように空を飛びながら、シベリアの州都のすばらしい景色を見下ろすことができます。

韓国・大田広域市 レポーター：イ・ミヒョン

2019年～2021年は「大田訪問の年」です。市が誕生して70周年、広域市に昇格して30周年を記念する大田訪問の年に、皆さんも大田に足を運んでみてはいかがでしょうか。大田を訪れるお客様のために様々なイベント開催されています。歴史・文化・教育・科学などをテーマにしたシティツアーバスに乗って、大田のあちこちを旅行したり、エキスポ公園で開かれる「月夜遠足」に足を運び、フードトラックで美味しい食べ物を食べてインスタ映えするフォトゾーンで写真を撮ったり。札幌の狸小路のような商店街である「スカイロード」で開かれる「トズル(土曜日、土曜日を楽しもう)」は、名前通りに土曜日になるとEDM公演の舞台が披露されます。人気歌手やDJなどによるEDM音楽に身を任せ、土曜日を満喫するのはいかがでしょうか。大田訪問の年をきっかけに、大田で楽しい時間を過ごしてみましよう。



▲大田銀杏のトズルの様子